

令和5年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
重点プロジェクト		次代を担う子どもを育むプロジェクト		
主管課	教育部 社会教育課	評価責任者	山中 昇	
		評価日	令和6年6月1日	
関連課	子育て支援課			
目標	社会教育施設は、市民の学習活動の拠点として市民の学びを支え、地域のコミュニティ形成、学習機会の充実に図ります。放課後の子どもたちの安全と安心な居場所づくりに向けて、放課後子ども事業の活動を充実します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 社会教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題などを解決するための学習支援や学習の場を提供します。 ○市民の自主的な文化活動の発表の場、交流の場としての各種事業の充実に図ります。 ○生涯学習を推進するため、地域の課題の講座などを開催し、地域に還元できる仕組みを支援します。 ○社会教育関係団体の支援・育成を推進します。 <p>(2) 放課後子ども事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後子ども総合プランに基づき、地域の協力の下、放課後児童クラブとの連携を進めます。 			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	図書貸出人数					
		説明	図書館の延べ貸出人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。 【令和5年度実績について】大井図書館の移転及び上福岡大規模改修工事に係る休館のため実績減。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	243,000	246,000	249,000	252,000	255,000	258,000
		実績値	229,628	214,973	171,464	190,479	209,992	183,437
	指標2	指標名	公民館利用者数					
		説明	公民館利用者延べ人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。 【令和5年度実績について】1館体制となったことによる実績減。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	282,400	285,800	289,300	292,900	296,400	300,000
		実績値	275,102	253,639	66,325	77,866	113,849	56,200
	指標3	指標名	資料館入館者数					
		説明	資料館の展示などの入館者数の延べ人数。市民の歴史文化に対する周知や意識の高揚を図る指標となるため。 【令和5年度実績について】大井郷土資料館の移転に伴う9月・10月の休館による実績減。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	16,287	14,963	12,673	21,314	17,308	11,770
指標4	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	234,256	215,751	333,166	332,504	368,710	661,392
	人件費	82,962	73,183	71,564	121,152	103,334	100,198
収入	特定財源	13,813	1,190	2,825	3,854	6,874	307,179
	一般財源	303,405	287,744	401,905	449,802	465,170	454,411

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	ふじみ野市民文化祭運営委員会の開催	令和4年度から継続して東西を統合し、第19回ふじみ野市民文化祭を開催した。また、令和5年11月4日に開館したふじみ野ステラ・ウェストにて初開催した。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年10月20日(金)～11月26日(日) 7部門(98団体71個人小中学校16校) 入場者数：7,954人 実行委員会を4回開催し、地域文化の発展と創造のための文化活動、成果発表の場の提供や団体間の連帯・親睦・交流の機会を提供することができた。	市民文化祭事業
取組②	市民の自主的活動の支援	にほんご教室は、平成6年にスタート。日本人スタッフ(ボランティア)の自主学習による内部研修が毎年開催されている。公民館では活動を支援するためのボランティア講座を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> にほんご教室(92回)／参加者数延べ1,003人(21か国)／スタッフ延べ769人 日本語ボランティア養成講座(2回)／参加者数延べ43人 上記取組により新規ボランティアの獲得と外国籍市民の生活課題の解決や地域参加の促進につなげることができた。	成人教育事業
取組③	小学校放課後事業推進検討会	小学校11校で年間を通して放課後子ども教室を実施し、2校については応募数が最少催行割合に達しなかったため、3学期に1回実施とした。事業の円滑な実施のため、学校、児童クラブ、放課後子ども教室の3者で小学校放課後事業推進検討会を実施した。	小学校放課後事業推進検討会において、学校と児童クラブ、放課後子ども教室の指導員の3者が、運営に関する相互理解を深めることができ、運営をスムーズに行うことができた。	地域学校協働活動推進事業
取組④	図書館ボランティア育成講座の開催	幼稚園や小学校で集団の子どもたちに絵本の読み聞かせをされている方を対象に、読み聞かせボランティア育成講座を市内小学校3校で開催した。また、読み聞かせを始めたい方向けに本の選び方や読み方のコツがわかる講座を開催した。	合計48名の参加があった。各講座を通して幼稚園・小学校で読み聞かせ活動をしている方々を育成し、地域での読み聞かせ活動の活発化と図書館資料の利用促進を図ることができた。	図書館管理運営事業の一部
取組⑤	市民と関連団体との協働	文化財ウォーキング、福岡河岸記念館での解説事業、子ども対象の郷土の伝承遊びや社会科体験学習、藍染め体験などの成人体験学習等において、ボランティアとの協働事業を開催した。文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野と共催事業を実施した。	ボランティアのアイデアによる企画や各種事業への協力、関連団体との協働の体制づくりに貢献した。また、ボランティアとともに文化財資料を活用した地域学習を推進し、市民が文化財と触れ合う機会や入館者数の増加につなぐことができた。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部

5. 評価

評価	
指標の達成状況	社会教育活動の支援について、感染対策を行いながら市民の学びの場の確保、学習機会の提供を行うことができた。市民文化祭事業については、各公民館で行っていた文化祭実行委員会を統合し、開催することができた。今後は文化施設との連携等を進め、引き続き、市民の文化活動の発表の場や多様な文化交流の場の提供が途切れることのないよう、市民活動の土台づくりとなる支援を行う。また、市民の学習ニーズや課題解決等を支援するため、ボランティア講座の開催、体験活動の機会提供を行なった。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	今後は、新たな課題を取り上げ、地域に還元できるような講座企画の検討など、学びを通じたひとつづくり、誰もがいつでもどこでも学ぶことが出来る学びの場づくりのため、社会教育の推進、充実を図っていく。放課後子ども教室事業については、回を重ねるにつれ参加者が増加した学校もあり、継続して実施することが重要だと認識している。文京学院大学との連携による学生参加は児童・指導員共に好評であり、今後とも連携を進めていく。放課後児童クラブとの交流事業も再開することができた。課題としては、複数校を担当している指導員が多いため、新たな指導員の獲得に向けた取組が必要である。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	木村裕之
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		教育基本法、社会教育法、ふじみ野市社会教育委員設置条例、ふじみ野市教育振興基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育法及びふじみ野市社会教育委員設置条例に基づき社会教育委員を委嘱する。社会教育の現代的課題に対し調査研究、教育委員会からの諮問を受け答申を行なうなど、地域や市民の現状・課題を把握し社会教育行政に反映させることで、地域の教育力の向上を目指す。			
	事務事業の経緯	昭和24年（1949年）6月10日に制定された社会教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動を推進することとして行われている。			
	事務事業の概要	定例会：年4回。教育委員会からの諮問等、必要に応じ専門委員会を設置し、研究調査を行う。 委員構成：15名以内（学校教育・社会教育・家庭教育関係者、学識経験者、市民公募） 内容：教育委員会諮問にかかる答申、社会教育関係団体の補助金審査、社会教育推進施策の調査研究、入間地区社会教育協議会活動、地域課題解決学習の調査研究等 社会教育委員は、地域や市民の現状・課題を把握し、社会教育行政に助言等することで地域の教育力の向上を図る。 社会教育の専門職である社会教育主事資格の取得のため、主事講習への職員の派遣を行う。			
	令和5年度の主な取組	1 社会教育委員の会議 第1回 6/30（金）10:00～12:00 第2回 11/13（月）10:00～12:00 第3回 11/27（月）10:00～12:00 第4回 12/4（月）10:00～12:00 第5回 1/16（火）10:00～12:00 2 社会教育主事講習への職員の派遣 社会教育主事講習修了者 1名 単位習得者 2名 ※令和6年度に講習修了予定			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	0.60	0.80
		人件費	7,169	4,754	6,339
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,169	4,754	6,339	
事業費	報酬※	336	412	528	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	204	209	410	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	279	330	220	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	130	130	133	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	35	52	113		
支出合計		8,153	5,887	7,743	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,153	5,887	7,743	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		71	52	66	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教育委員会への建議（計画、答申、調査報告）件数		
	説明	地域課題や市民の社会的課題に対する生涯学習・社会教育の役割について、諮問答申、調査報告など教育委員会に助言を行い、行政施策の方針策定の土台とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	1	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 社会教育委員の会議 (1) 実施内容 ①社会教育課及び社会教育施設が実施する令和5年度社会教育関連事業計画を説明（第1回会議） ②社会教育関係団体補助金審査（第1回会議） ③ふじみ野市立上福岡西公民館の今後のあり方について（諮問及び答申）（第3回～5回会議） ④第3期ふじみ野市教育振興基本計画策定に向けた研修会（国の第4期教育振興基本計画の概要） ⑤人間地区社会教育協議会等、各種機関が主催する研修会等に参加 ⑥会議において、委員の活動報告等、情報交換を行った (2) 効果 ①委員の様々な立場の視点から、西公民館の今後のあり方について、重要な視点を提示いただいた。 ②国の第4期教育振興基本計画の概要を学んだことにより、社会教育で課題となっていることについて理解が深まり、事務局及び委員で共有することができた。 ③委員の情報交換により、各委員が所属している団体等の活動を通して地域課題や社会教育の課題等を事務局及び委員で共有することができた。
	2 社会教育主事講習への職員の派遣 (1) 実施内容 社会教育主事講習 [A] に職員1名を派遣（社会教育主事講習修了） 社会教育主事講習 [B] に職員2名を派遣（2単位習得1名、1単位習得1名）※令和6年度に講習修了予定 (2) 効果 生涯学習・社会教育行政に関する法令及び主要答申、社会教育の役割及び意義、先進地事例等を学び、ファシリテート手法、計画立案方法について演習を行い、地域の社会教育のオーガナイザーとしての知識を得ることができた。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下や家庭教育の必要性が指摘されており、学校・家庭・地域との連携・協働が今後より一層求められる。 社会教育委員の活動は、地域や市民の現代的課題を把握し、生涯学習・社会教育行政の施策に反映させるための助言を行うことであり、今後も会議の内容や実施時期、研究調査の機会等を充実させながら効率的かつ活発な社会教育委員活動を推進していく必要がある。
中長期的方向性	令和7年度以降、上福岡西公民館が文化施設として整備されるため、施設に捉われない、市内全域での事業展開が求められている。教育振興基本計画の策定とあわせ、具体的な施策、方法等を検討し、実践していく必要がある。また、学校を核とした地域づくりを進めるにあたり、地域学校協働活動推進本部を支える社会教育行政全般を推進していくために、社会教育行政の専門職である社会教育主事の養成が必要である。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	地域学校協働活動推進事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	次代を担う子どもを育むプロジェクト			
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	木村裕之	
事務事業期間	平成21年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法 ふじみ野市地域学校協働活動推進員設置要綱 埼玉県放課後子供教室推進事業実施要綱 ふじみ野市放課後子ども教室事業実施要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域学校協働活動は、地域と学校が協働しながら子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを進めることを目的とする。また、放課後子ども教室は「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、地域の参画を得ながら放課後の子どもたちの安全安心な居場所を確保するとともに、学習、交流、体験等の活動を通し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
	事務事業の経緯	令和4年度から地域学校協働活動推進員及び地域学校協働本部を設置。モデル校を設定し地域学校協働活動の推進に着手。 国と県が推進する「放課後子供教室推進事業」を受け、平成21年度より開設に着手し、平成27年度に市内全小学校で開設。		
	事務事業の概要	地域と学校をつなぐコーディネーターとして、市内各小中学校に地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を1名ずつ配置し、地域学校協働本部（地域学校協働ネットワーク）の充実を図るとともに各校での地域学校協働活動を推進する。 放課後子ども教室では、市内全小学生を対象として、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々が指導者として参画することで、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動を通して、地域住民との交流活動の取組みを推進する。市内各小学校で毎週1回実施している。		
	令和5年度の主な取組	地域コーディネーターの委嘱及び研修会、情報交換会（年3回）を開催した。 地域コーディネーターハンドブックの改訂を行った。 令和5年度は、国の新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえながら、通常どおり開催した。 放課後子ども教室運営委員会の開催及び指導員会議・研修会、学校と児童クラブ、放課後子ども教室コーディネーター等による調整会議を開催した。また、文京学院大学との連携を継続し、学生の教室参加を推進した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	1.00	1.00
		人件費	6,372	7,923	7,923
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.89	0.86	0.86
	人件費	2,430	2,384	2,964	
	人件費計	8,802	10,307	10,887	
事業費	報酬※	1,369	1,654	1,931	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	962	942	973	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	123	124	129	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	3,311	8,145	15,893		
	支出合計	12,137	18,788	26,849	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	1,748	4,505	10,170
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	1,185
	一般財源	10,389	14,283	15,494	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	91	125	132	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	登録人数		
	説明	参加登録人数の把握 令和5年度については、通年開催の11校及びイベント体験開催の2校の登録人数を実績値とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	415	415	415
	実績値	227	372	
指標 2	指標名	地域学校協働活動モデル校数		
	説明	※令和4年度からの新規指標 令和4年度から地域学校協働活動のモデル校を設定し、徐々に実施中学校区を増やしていく予定である。		
成果	単位	校		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	3	4	4
	実績値	4	4	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 地域学校協働活動 (1) 地域コーディネーター研修会・情報交換会等 ①委嘱式及び研修会(4/13) ②学校運営協議会委員研修会(5/30) ※学校運営協議会と合同 3校(上野台小、東台小、東原小)実践報告と情報交換 ③学校運営協議会委員研修会(12/8) ※学校運営協議会と合同 3校(亀久保小、葦原中、大井西中)実践報告と上野台小模擬学校運営協議会と意見交換 ④地域コーディネーターカフェ(1/26, 2/20, 3/19 計3回)情報交換を目的に今年度から開催 (2) 令和4年度から引き続きモデル校区の指定 大井中学校区(大井中・大井小・東原小・東台小 計4校) (3) 中学校区合同会議への出席(大井中学校区・大井西中学校区)
	2 放課後子ども教室 (1) 教室の開催 ①市内小学校13校中11校実施(西原小・さぎの森小は参加者が少なかったため中止) 令和5年5月8日(月)～令和6年3月18日(月)各校28回～33回実施 ②西原小・さぎの森小は参加者が少なかったため3学期に体験イベントとして1回実施 (2) 運営委員会及び指導員会議等 ①放課後子ども教室運営委員会の開催(7/28, 3/12 計2回) ②指導員代表者会議(4/24, 8/22, 12/26, 3/27 計4回) ③指導員全体研修会(8/22) テーマ「児童との関わり方」 ④学校と放課後子ども教室コーディネーター等による調整会議を開催(1学期に各校1回) (3) 文京学院大学との連携 ①1,2学期各校放課後子ども教室への参加(計4日間) 学生が授業でイベント企画を考え、指導員と協力して実施した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域が連携していくことがより一層必要とされている。また、学校を核としたまちづくりを進めるために地域学校協働活動の推進が必要となっており、地域コーディネーターを中心とした地域のつながりづくりと人材の発掘、育成に取り組むとともに、放課後子ども教室を含めた地域学校協働活動推進事業として事業を行う。
中長期的方向性	全児童が放課後等をより安全・安心に過ごしながら多様な体験・活動ができる場を提供することが必要となっている。また、放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に実施するため、より円滑で継続的な教室の運営に向けた取組を進めていく。
継続	教育委員会と福祉部局の更なる連携体制の確立並びに特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策や、安全・安心な教室運営の視点から運営方法の最適化も視野に入れ、一層の拡充を図っていく。

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		二十歳の集い事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費		
所管部課		教育部 社会教育課	評価責任者	木村裕之
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		国民の祝日に関する法律		
事務事業の内容	事務事業の目的	二十歳の集いは、二十歳を迎えた青年の新しい門出を祝福して、大人としての自覚を促すとともに、家族や友人達との絆を再認識し、また将来に向けて大きく成長してほしいことを願う大切な行事である。		
	事務事業の経緯	昭和23年に国民の祝日に関する法律が施行され、第2条で「成人の日」として大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことが定められた。全国的に成人に達した人を祝う式典として開催されている。令和4年4月1日に「民法の一部を改正する法律」が施行され、成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、事業の名称を「二十歳の集い」に改めた。		
	事務事業の概要	二十歳に達した青年男女の新しい門出を大きな単位で喜びを分かち合い、祝福し祈念するあたたかさのある「二十歳の集い」を実施する。また、中学校時代の恩師を来賓に招くことで、大人としての意識を深める。		
	令和5年度の主な取組	会場が新たに「ふじみ野ステラ・ウェスト」に変更となったため、定員を見直し2部制にて実施した。 令和6年ふじみ野市二十歳の集い 令和6年1月8日（月） 成人の日 実施 【当日プログラム】 オープニング祝い太鼓、ふじみ野市長のメッセージ、ふじみ野市議会議長のメッセージ、来賓紹介、二十歳のメッセージ（2部、各2名）、祝電披露 【参加者数】 第1部（大井中学校区・大井西中学校区・大井東中学校区）：443人、 第2部（福岡中学校区・葦原中学校区・花の木中学校区）：387人、総合計：830人		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.94	0.64	0.84
		人件費	7,488	5,071	6,656
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,488	5,071	6,656	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	105	70	77	
	委託料	897	457	440	
	使用料及び賃借料	275	100	193	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	117	115	116		
支出合計		8,882	5,813	7,482	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,882	5,813	7,482	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		78	51	64	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	出席者数		
	説明	二十歳の集いに参加しての満足度としたいが、把握困難であるため出席者数とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,352	1,352	1,283
	実績値	820	830	
指標 2	指標名	出席率		
	説明	二十歳の集いに参加しての満足度としたいが、把握困難であるため出席率とした。		
活動	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	65.00	67.00	67.00
	実績値	66.56	67.42	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>二十歳に達した青年の門出を市民全体で祝い励ますとともに、主体的に行動するふじみ野市民としての自覚と今後の積極的な社会参加を促し、夢と希望と活力あふれる未来のふじみ野を創造するため、二十歳の集いを実施する。</p> <p>二十歳の集いは中学校時代の同級生が同じ場所に集うということで、疎遠になってしまった旧友と再会する機会を提供し、同時に成人となった青年の新しい門出を祝福すること、また、家族や友人達との絆を再認識し、将来に向けて大きく成長してほしいとすることを願う大切な催しである。</p> <p>本市では、二十歳の集い参加者の代表者に「二十歳のメッセージ」として、これまで育てていただいた方々への感謝の気持ちや大人としての自覚や決意を披露していただき、多くの仲間と共感する場を提供している。</p> <p>令和5年度は会場を新たに「ふじみ野ステラ・ウェスト」で中学校区ごとに2部制で開催した。内容については令和4年度に引き続き、市内の太鼓団体による祝い太鼓の演奏や、屋外にフォトコーナーを設置した。</p>
	<p>内容【プログラム】</p> <p>司会：市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング祝い太鼓 ・主催者あいさつ（ふじみ野市長） ・来賓あいさつ（ふじみ野市議会議長） ・来賓紹介 ・二十歳のメッセージ（2部とも各2名） ・祝電（埼玉県知事他） <p>招待状発送者数 1,231通</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	二十歳という節目に達した方々の新しい門出を祝福し、喜び分かち合えるイベントとなるよう進め方の調査、研究を行ない、事業の効率化も検討していく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育関係団体育成事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	木村裕之
事務事業期間		平成17年～		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱、社会教育法第10条			
事務事業の内容	事務事業の目的	社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図る。			
	事務事業の経緯	合併前の上福岡市教育委員会では、平成15年度に「上福岡市社会教育関係団体補助金交付要綱」と「上福岡市教育委員会の後援等の承認に関する要綱」を定め、事業を推進してきた。合併後は「ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱」に基づき事業を推進している。平成27年度からPTA連合会補助金は学校教育課へ移管となった。			
	事務事業の概要	市内社会教育関係団体を統括する文化団体連合会に対し、補助金を交付し、取組を奨励している。令和3年度に文化団体連合会より解散する旨の申し出があった。			
	令和5年度の主な取組	ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、市全体を統括している団体（統括団体）からの申請により補助金を交付する。（令和5年度の申請はなし）			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.11	0.11	0.11
		人件費	877	872	872
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		877	872	872	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		877	872	872	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		877	872	872	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		8	8	7	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	補助金交付件数		
	説明	※令和4年度からの新規指標 令和3年度に文化団体連合会が解散したことにより現在補助対象となる団体はないが、新たな統括団体が結成され、申請があった場合は、その申請に基づき補助金を交付した件数を指標とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、市全体を統括している団体（統括団体）からの申請により補助金を交付する。令和3年度に文化団体連合会が解散したことにより現在補助対象となる団体はないが、新たな統括団体が結成され、申請があった場合は、その申請に基づき補助金を交付する。この事業により、社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図ることができる。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図るため、その「統括団体」に対し、補助金を交付している。現在、文化・スポーツ振興課文化振興係が市の文化施策を担っており、文化団体への支援の在り方について検討する必要がある。また、社会教育の役割として地域課題の解決に資する学びや団体の育成が課題になっていることから、補助制度の在り方についても検討していく必要がある。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	一般市民を対象に、地域文化の発展と創造のための文化活動の機会を提供し、団体、サークルや市民個人も含め学習活動の成果発表の場とする。 地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため、地域に開かれ、親しみのもてる公民館を目指す。		
	事務事業の経緯	ふじみ野市民文化祭は、毎年10月から11月にかけて【おおい会場】、【かみふくおか会場】の2つに分かれて行っていたが、令和2年度からふじみ野市民文化祭を1本化し、ふじみ野市全体で行っている事業として市内全域での取り組みを進めている。令和5年度は、会場を上福岡西公民館、ふじみ野ステラ・ウェストで実施した。西公民館まつりは、西公民館創設以来継続実施してきている。		
	事務事業の概要	文化祭は、例年10月から11月にかけて行われている事業で、各部門から役員を選出し、実行委員会を組織して行っている。 西公民館まつりは、近隣自治組織、商店会、子ども会育成会、上福岡西公民館利用者懇談会などに参加を呼びかけ、実行委員会方式により実施している。		
	令和5年度の主な取組	第19回市民文化祭を7部門【作品展示、ふれあい、カラオケ、子ども劇場、ミュージックフェスティバル、邦舞、洋舞】により、10月20日（金）から11月26日（日）まで実施した。 第34回西公民館まつりを9月9日（土）及び9月10日（日）に実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.60	1.04	1.04
		人件費	12,744	8,240	8,240
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.40
		人件費	2,109	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.11	0.11
	人件費	253	245	245	
人件費計		15,106	10,561	10,561	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	2,833	4,140	6,239	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		17,686	14,456	16,555	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		17,686	14,456	16,555	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		155	127	141	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	文化祭に参加した団体数。 多くの団体が文化祭に参加することにより、市民と参加団体との文化交流が図られるため成果指標とした。		
活動	単位	団体		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	240	240	240
	実績値	208	191	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	文化祭開催期間に来場した人数。 多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により、市民と参加団体との文化交流が図られるため成果指標とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	14,000	14,000	14,000
	実績値	6,982	7,954	
指標 3	指標名	西公民館まつりの参加者人数		
	説明	西公民館まつりの参加者人数 多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図られるため成果指標。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,200	1,200	1,200
	実績値	1,589	3,583	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>第19回市民文化祭を7部門【作品展示、ふれあい、カラオケ、子ども劇場、ミュージックフェスティバル、邦舞、洋舞】により、10月20日（金）から11月26日（日）まで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月20日（金）～22日（日） 作品展示（前期） ・10月27日（金）～29日（日） 作品展示（後期） ・10月29日（日） お茶席 ・11月 3日（金） 祝日 ふれあい（将棋大会） ・11月11日（土） カラオケ ・11月18日（土） 子ども劇場 （ふじみ野ステラ・ウェスト初開催セレモニー開催） ・11月23日（木） 祝日 ミュージックフェスティバル ・11月25日（土） 芸能発表会邦舞 ・11月26日（日） 芸能発表会洋舞 <p>第34回西公民館まつり9月9日（土）及び9月10日（日）に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 上福岡西公民館 ・入場者数 9月9日（土）234人 9月10日（日）3,349人 <p>市民による実行委員会に委託し、市民が主体となった事業となった事業として確実に定着している中、参加団体（個人を含め）の拡大による事業の充実と、実行委員会の事業運営力の更なる向上を図り、市全体にアピールし地域文化の発展につなげていく必要がある。また、市と市民、市民相互の協働事業として、市民自らが学びの場と機会を作り上げるという教育力の向上に役立っている事業であるため、今後も市民の文化活動の一環を成す事業として実施する予定である。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り、活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施することが必要である。</p> <p>令和5年度も継続して、ふじみ野市として一つの実行委員会形式で実施した。</p>
中長期的方向性	令和6年度も引き続き一つの実行委員会形式として行う市民文化祭として統合した運営が求められる。
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	地域文化の発展と創造のための文化活動の機会提供、魅力のある生の芸術等の鑑賞機会提供による地域文化に寄与する。また、地域住民の実際生活に即した教育、学術及び文化に関する事業を行い、より地域社会に密着した文化を築き上げていく。		
	事務事業の経緯	昭和55年の大井中央公民館新築により大ホールが設置された当時から「舞台芸術鑑賞会」としてホールを利用した事業を開催している。また、6月から1月の毎月第3金曜日に「公民館サロン」として「大井寄席」を開催している他、平成28年度より市出身の落語家による「地元落語家応援寄席」も実施している。囲碁将棋大会は昭和47年から開催している。		
	事務事業の概要	より多くの市民に公民館を知ってもらうために、ホールを活用した舞台芸術鑑賞事業（演劇・音楽）、公民館サロンを実施している。日頃のサークル活動の実践の場、交流する場を提供することを目的に囲碁将棋オセロ大会を実施している。		
	令和5年度の主な取組	①舞台芸術鑑賞会：実行委員会形式による企画・運営で、ミュージカル落語「美女と野獣」を行った。 ②公民館サロン：舞台芸術を少人数で気軽に味わってもらう催しとして、「地元落語家応援寄席」及び「大井寄席」を9回行った。 ③新春落語会：日本の伝統文化に触れてもらうため、1月に落語会を開催した。 ④囲碁将棋オセロ大会：子ども将棋大会、オセロ大会、囲碁大会、将棋大会を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.75	0.94	0.94
		人件費	5,974	7,448	7,448
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.40	0.40
		人件費	528	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.11	0.11
	人件費	253	245	245	
人件費計		6,755	9,769	9,769	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	5	45	50	
	委託料	992	1,020	1,537	
	使用料及び賃借料	34	175	1,230	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	370	370	688		
支出合計		7,903	11,134	13,029	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	315
一般財源		7,903	11,134	12,714	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		69	98	108	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	舞台芸術鑑賞会入場者数		
	説明	舞台芸術鑑賞会の入場者数（年1回実施）		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	870	870	870
	実績値	247	277	
指標 2	指標名	公民館サロン入場者数		
	説明	公民館サロンとして実施している「地元落語家応援寄席」及び「大井寄席」の入場者数（年9回実施）		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	660	660	660
	実績値	158	375	
指標 3	指標名	応募者数（囲碁将棋・オセロ大会）		
	説明	多くの市民のニーズに合致した魅力的な内容であれば応募者も多くなり満足度につながるため成果指標としたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染防止対策により参加定員数を削減して開催した。		
成果	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	130	130	130
	実績値	93	64	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1	舞台芸術鑑賞会 ・開催日 令和6年3月10日（日） ・内容 ミュージカル落語「美女と野獣」 ・出演者 三遊亭究斗 ・会場 ふじみ野ステラ・ウェストホール ・入場者数 277人
	2	公民館サロン (1) 地元落語家応援寄席 ・開催日 令和5年5月27日（土） ・出演者 立川志の太郎 ・会場 上福岡西公民館 ・入場者数 49人 (2) 大井寄席（上福岡西公民館で実施） ・開催日、出演者及び入場者数 令和5年 6月17日（土） 柳家 緑太 21人 令和5年 7月22日（土） 古今亭 始 20人 令和5年 8月26日（土） 柳家 圭花 45人 令和5年 9月30日（土） 三遊亭 ふう丈 39人 令和5年10月14日（土） 春風亭 一花 42人 令和5年11月25日（土） 春風亭 与いち 53人 令和5年12月 9日（土） 金原亭 馬久 54人 令和6年 2月24日（土） 柳家 あお馬 52人
	3	囲碁将棋オセロ大会 ・子ども将棋オセロ大会 開催日 令和5年5月27日（土） 会場 ふじみ野ステラ・イースト 参加者 子ども将棋大会 19人 オセロ大会 31人
	4	新春落語会 ・開催日 令和6年1月26日（金） 会場 上福岡西公民館地下ホール ・入場者数76人

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	実行委員会形式の「舞台芸術鑑賞会」、開催が定着している「公民館サロン」ともに、公民館利用者に芸術を身近に感じて関心を高めてもらう格好の事業となっている。また、「公民館サロン」の「大井寄席」については、出演者自身の横のつながりを核とした継続的な実施が確保できることで、出演者間での「大井寄席」の評判や、高座の質の向上を維持する等、多方面に継続実施の効果が反映されている。今後も市民ニーズに合致した、質の高い芸術を鑑賞できる機会を提供できるよう事業に取り組んでいく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。上福岡西公民館の1館体制となった令和5年度からは、くらしの生活学部（教養学科）、元気健康学部（健康のための体育学科・健康のための声楽学科）、くらしの中の芸術学部（陶芸学科・美術学科）開講した。また、「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を年2回、開講している。		
	令和5年度の主な取組	①各学部学科 ・くらしの生活学部：教養学科：毎月1回程度、年間8回開設した。 ・元気健康学部：体育学科、声楽学科：毎月1回程度、年間14回開設した。 ・くらしの芸術学部：陶芸学科、美術学科：毎月1回程度、年間17回開設した。 ②合同講座を7月、2月に開設した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.94	0.94
		人件費	4,779	7,448	7,448
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.40	0.20
		人件費	0	2,076	1,038
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.11	0.07
	人件費	253	245	156	
人件費計		5,032	9,769	8,642	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	77	118	103	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	4	62	556	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	828	595	824		
支出合計		5,688	10,299	9,969	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,688	10,299	9,969	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		50	90	85	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	昭和100年大学で実施する講座の回数。		
成果	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	60	60	60
	実績値	67	41	
指標 2	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	60	60	60
	実績値	63	183	
指標 3	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	70	80	80
	実績値	43	80	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和5年度高齢者教育事業について】 高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるよう支援する。 昭和100大学																																									
	<table border="0"> <tr> <td>(1) 暮らしの生活学部教養学科</td> <td>月1回程度</td> <td>14時～16時</td> <td>定員60人</td> <td>全8回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>368人</td> </tr> <tr> <td>(2) 元気健康学部体育学科</td> <td>月1回程度</td> <td>10時～正午</td> <td>定員40人</td> <td>全7回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>(3) 元気健康学部声楽学科</td> <td>月1回程度</td> <td>14時～16時</td> <td>定員40人</td> <td>全7回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>(4) 暮らしの中の芸術学部美術学科</td> <td>月1回程度</td> <td>10時～正午</td> <td>定員16人</td> <td>全8回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>(5) 暮らしの中の芸術学部陶芸学科</td> <td>月1回程度</td> <td>10時～正午</td> <td>定員16人</td> <td>全9回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>(6) 合同公開講座</td> <td>年2回</td> <td>年間延べ人数</td> <td>80人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(1) 暮らしの生活学部教養学科	月1回程度	14時～16時	定員60人	全8回	年間延べ人数	368人	(2) 元気健康学部体育学科	月1回程度	10時～正午	定員40人	全7回	年間延べ人数	218人	(3) 元気健康学部声楽学科	月1回程度	14時～16時	定員40人	全7回	年間延べ人数	213人	(4) 暮らしの中の芸術学部美術学科	月1回程度	10時～正午	定員16人	全8回	年間延べ人数	116人	(5) 暮らしの中の芸術学部陶芸学科	月1回程度	10時～正午	定員16人	全9回	年間延べ人数	133人	(6) 合同公開講座	年2回	年間延べ人数	80人		
(1) 暮らしの生活学部教養学科	月1回程度	14時～16時	定員60人	全8回	年間延べ人数	368人																																				
(2) 元気健康学部体育学科	月1回程度	10時～正午	定員40人	全7回	年間延べ人数	218人																																				
(3) 元気健康学部声楽学科	月1回程度	14時～16時	定員40人	全7回	年間延べ人数	213人																																				
(4) 暮らしの中の芸術学部美術学科	月1回程度	10時～正午	定員16人	全8回	年間延べ人数	116人																																				
(5) 暮らしの中の芸術学部陶芸学科	月1回程度	10時～正午	定員16人	全9回	年間延べ人数	133人																																				
(6) 合同公開講座	年2回	年間延べ人数	80人																																							

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	超高齢化社会を背景に、高齢者の健康維持や居場所づくり、生きがいつくり、また地域のコミュニティ育成に貢献する事業であるとともに、高齢者の学習意欲を満し、心身ともに豊かな生活の実現を目的とする、現代社会に必須の事業であるため、今後も参加対象者のニーズを把握した学習機会の提供に取り組む。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	子どもたちが多様な学びを経験する機会を得ることにより、郷土を愛する手立てとなることを目的とし、豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	学校週5日制対応事業として小・中学生を対象に事業を開設。子どもたちが地域の中で健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習機会の提供を目的に、公民館利用団体と連携した各種教室や文京学院大学等と連携した野外活動体験等、各種プログラムを企画実施し、市民より好評を博してきた。平成30年度は6教室を毎月定期的に開催、夏休みには親子チャレンジ教室を実施している。		
	事務事業の概要	小学3年生の社会科の体験学習として身近な公民館の活動内容を学ぶ小学3年生公民館体験教室を開設している。その他、子どもの城、子どもまつり、ふくっ子クラブ、わんぱく教室、はとぼっぼ教室、サイエンスショーを実施している。		
	令和5年度の主な取組	①小学校3年生体験教室：5月に開催し、小学校4校が参加した。 ②子どもの城：地域や仲間と交流を図りながら学習できる将棋教室を開設し、10回開催した。 ③子どもまつり：令和6年3月3日（日）に実施した。 ④ふくっ子クラブ：10回開催 ⑤わんぱく教室：9回開催 ⑥はとぼっぼ教室：7回開催 ⑦サイエンスショー：8月に開催した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	0.84	0.84
		人件費	11,948	6,656	6,656
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.40	0.40
		人件費	1,055	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.07	0.07
	人件費	253	156	156	
人件費計		13,256	8,888	8,888	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	52	73	95	
	委託料	274	274	274	
	使用料及び賃借料	287	286	391	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	765	343	691		
支出合計		14,381	9,708	10,183	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		14,381	9,708	10,183	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		126	85	87	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	教室や内容等、時代のニーズに合致した事業の展開が把握できるため成果指標とした。		
成果	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	52	52	52
	実績値	36	43	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	100	100	100
	実績値	62	111	
指標 3	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなり受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	100	100	100
	実績値	62	90	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和5年度青少年教育事業について】
	<p>学校週5日制が試行的に実施された平成4年度から、地域における子どもの居場所づくりとして、遊びや学びの機会を提供するとともに、学校や地域と連携して、人との交流やコミュニケーションを経験できる行事やイベントなどを開催し、青少年の自主的な社会参加を促進している。小学生を対象に、子どもたちが地域の中で、健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習の機会を提供するため、将棋教室を毎月定期的に開催している。平成30年度から新たな事業として、小学生の親子を対象した夏休みチャレンジ教室を開催している。</p> <p>(1) 小学3年生公民館体験教室 全5回 会場：上福岡西公民館 5月9日（火）10日（水）16日（火）17日（水）19日（金）参加者数延べ4校378人</p> <p>(2) 子どもの城教室 全10回 会場：上福岡西公民館 将棋大会（小学1年生～6年生）延べ参加者数114人</p> <p>(3) 子どもまつり 全1回 会場：上福岡西公民館 令和6年3月3日（日）参加者数764人</p> <p>(4) ふくっこクラブ 年間10回開催 定員30人 延べ参加者数373人</p> <p>(5) わんぱく教室 年間9回開催 定員30人 延べ参加者数384人</p> <p>(6) はとぼっぼ教室 全7回 会場：上福岡西公民館 延べ参加者数76人 第85期 令和5年6月1日（木）8日（木）15日（木）22日（木）29（木）7月6日（木） 第85期特別編 令和5年12月20日（水）</p> <p>(7) 夏休み子どもチャレンジ教室 サイエンスショー 令和5年8月27日（日）午後1時30分～午後3時（小学生親子60組）120人 講師：東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>「子どもの城」は、対象となる小学生の学校、年齢を超えた交流をベースに高い学習効果を生み出すとともに、講師をボランティア的に務めている公民館利用者のモチベーションアップにつながるものとして、公民館のみならず市民の教育力の向上につながる重要な価値を持つ事業である。また、事業実施の過程で学習成果の発表の場（市民文化祭など）を設け、受講者の家族等と意思の疎通を図ることができるなど、さまざまな可能性を持つ事業となっている。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	地域課題や生活課題の学習とともに、さまざまな体験を重ねることで、心身ともに充足し、住んで良かったといえる地域づくりを目指す。また、豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	昭和48年度の「大井町公民館年間計画」ですでに「青少年教育の充実」や「芸術文化活動の高揚」などとともに「成人教育の充実」が掲げられ、「家庭教育学級」や「文化講座」などが実施されている。また、昭和62年社会教育施設として西公民館が開設され、市民の生涯学習を進めるため成人を対象とした各種教室等を開催している。		
	事務事業の概要	家庭教育セミナー、趣味講座、公民館講座、人権・平和講座、日本語教室、にほんご教室、日本語ボランティア養成講座、コスモスクラブ		
	令和5年度の主な取組	成人教育の充実に目的に、家庭教育セミナー（4回）、趣味講座（4回）、公民館講座（5回）、人権・平和講座（1回）、日本語教室（92回）、にほんご教室（92回）、日本語ボランティア養成講座（2回）、コスモスクラブ（10回）、マジック講座（4回）など市民ニーズに合致した魅力ある講座を開催。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.05	0.84	0.84
		人件費	8,364	6,656	6,656
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.40	0.40
		人件費	2,636	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.07	0.07
	人件費	253	156	156	
人件費計		11,253	8,888	8,888	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	140	151	119	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	134	181	305	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	843	670	972		
支出合計		12,117	9,734	10,128	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		12,117	9,734	10,128	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		106	85	86	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるので成果指標とした。		
成果	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	100	100	100
	実績値	165	214	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致し魅力的な講座であれば応募率も高くなり満足度につながるので成果指標とした。（日本語教室は除く）		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	70	100	100
	実績値	60	87	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和5年度成人教育事業について】
	<p>(1) 家庭教育セミナー 全4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入学準備講座」 会場：ふじみ野ステラ・イースト 令和5年11月10日（金）17日（金）24日（金）12月1日（金）参加者数延べ18人 <p>(2) 趣味講座 全4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしいストレッチ&筋膜リリース」 会場：ふじみ野ステラ・ウエスト 令和6年1月19日（金）2月2日（金）16日（金）参加者数延べ35人 ・「和食を学ぼう 出汁ってなに？」 会場：ふじみ野ステラ・ウエスト 令和6年3月14日（金）参加者数24人 <p>(3) 公民館講座 全5回 会場：上福岡西公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スマートフォン講座」 令和6年1月17日（水）24日（水）31日（水）2月7日（水）14日（水）参加者数延べ114人 <p>(4) 人権・平和講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じんけん講座」 会場：上福岡西公民館 令和5年12月10日（日）参加者数56人 <p>(5) 日本語教室 全92回 会場：ふじみ野国際交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から令和6年3月 毎週月・木曜日 年間利用者 延べ672人 <p>(6) にほんご教室 全92回 会場：上福岡西公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から令和6年3月 毎週日・水曜日 年間利用者 延べ1,003人 <p>(7) 日本語ボランティア養成講座 全2回 会場：上福岡西公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月4日（日）11日（日）参加者数延べ43人 <p>(8) コスモスくらぶ 全10回 会場：上福岡西公民館等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年5月から令和6年3月 全10回 年間利用者 延べ224人 <p>(9) マジック講座 全4回 会場：上福岡西公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月15日（金）22日（金）29日（金）10月6日（金）年間利用者 延べ35人

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	学習や交流の機会を求めている市民に、その機会を提供することは公民館の大きな役割である。市民ニーズは多様であり、それらを的確に捉え学習機会を提供することにより、市民全体の教育力向上につながるものとして、今後も継続して実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	上福岡西公民館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 ー温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡西公民館	評価責任者	内田徳子	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場所を提供するため、施設・設備の安全管理を行う。		
	事務事業の経緯	市民の教養の向上、健康の増進、学術及び文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として各種の事業を行う上で、安全で安心して学習できる施設の維持管理・提供に努める。		
	事務事業の概要	上福岡西公民館は、昭和62年9月に開館し、今年で開館から36年を迎える。公民館は、地域住民の交流の場、学習の場として利用できる教育施設である。また、豊かな生活に資するため、様々な講座や催しを開催している。上福岡西公民館管理運営事業では、公民館を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するため、施設・設備の安全管理を行っている。		
	令和5年度の主な取組	令和5年度は、公共施設の包括管理が導入されたため、包括管理事業者との連携を密にして、施設運営を行っている。令和5年度に実施した主な施設修繕は、次のとおりである。 ※外階段軒天修繕、駐車場ホール修繕、屋内消火栓設備ホールアップ修繕、受水槽ホールアップ修繕 等		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	2.00	1.65
		人件費	11,948	15,846	13,073
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.80	1.80	1.10
	人件費	3,700	2,796	4,198	
	人件費計	15,648	18,642	17,271	
事業費	報酬※	3,134	3,048	3,808	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	19,496	12,626	17,011	
	委託料	20,128	2,406	327	
	使用料及び賃借料	219	396	272	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	38	24	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	893	724	1,256		
	支出合計	55,818	35,084	35,771	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	2,016	2,147
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	306	41
	一般財源	55,818	32,762	33,583	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	489	287	286	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延べ人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	70,000	70,000	70,000
	実績値	55,193	54,555	
指標 2	指標名	公民館の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	32.40	31.70	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和5年度の修繕状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 包括管理事業者による修繕 <ul style="list-style-type: none"> 外階段軒天修繕 駐車場ポール修繕 屋内消火栓設備ポールタップ修繕 受水槽ポールタップ修繕 等 ・ 公民館予算による修繕 <ul style="list-style-type: none"> アップライトピアノ黒鍵修繕
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	開館から36年経過していることから施設の老朽化が進んでいるが、包括管理事業者との連携を密にして施設の維持管理に努め、利用者が安心して安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	上福岡西公民館分室管理事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課	教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間	平成17年度～		評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行う。		
	事務事業の経緯	上福岡西公民館分室は昭和59年に、市内市民のために、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として開館し、現在に至っている。		
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。		
	令和5年度の主な取組	上福岡西公民館分室管理事業では、分室を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するため、施設・設備の安全管理を行っており、令和5年度は、公共施設の包括管理が導入されたことにより、包括管理事業者との連携を密にして、施設の管理運営を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.30	0.75
		人件費	1,593	2,377	5,943
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.06
	人件費	0	0	134	
	人件費計	1,593	2,377	6,077	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	604	301	414	
	委託料	338	240	240	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	1	1		
	支出合計	2,535	2,919	6,598	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	26	21	27
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	2,509	2,898	6,571	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	22	25	56	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館分室利用者延べ人数		
	説明	分室を利用した延べ人数。分室が市民の活動の場となっているかの指標。 延べ利用者数		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2,700	2,700	2,700
	実績値	923	814	
指標 2	指標名	分室利用率		
	説明	地域の公民館分室がどれだけ有効に利用されているの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	20.00	20.00	20.00
	実績値	8.10	5.50	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>令和5年度より、公共施設の包括管理が導入されたことにより、包括管理事業者と連携し、施設の管理運営を行っている。</p> <p>令和5年度の修繕はなし。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	図書館管理運営事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目				
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	木村裕之	
事務事業期間	平成27年度～	評価日	令和6年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	図書館法、ふじみ野市立図書館条例及びふじみ野市立図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令、教育振興基本計画、ふじみ野市立図書館サービス計画、ふじみ野市子ども読書活動推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡図書館及び大井図書館の運営を支えるため施設管理及びモニタリング、指導を行う。		
	事務事業の経緯	昭和53年に上福岡市立図書館設置条例制定。その後市民の図書館建設運動を経て平成6年現在地に市民要望と意見を取り入れて建設され、平成27年10月から指定管理者制度を導入して運営を行う。大井図書館は、昭和63年7月に町民要望により開館した。令和2年度から指定管理制度を導入した。令和3年度から上福岡図書館・大井図書館を統合して「図書館管理運営事業」とした。		
	事務事業の概要	上福岡図書館は平成27年度から、大井図書館は令和2年度から続けている指定管理者による管理運営を継続する。 上福岡図書館は、平成5年度竣工、平成6年度開館の施設のため、空調機を中心に施設各所に老朽化等による劣化・不具合が生じているため、大規模改修工事を行う。 大井図書館は、令和5年度に移転することを考慮し、安全性の観点から必要不可欠な修繕のみ対応する。		
	令和5年度の主な取組	指定管理者による管理運営が円滑に進むよう連携を図るとともに、モニタリングを通じて評価、指導を行う。特に、貸出利用者数の増加に繋がるような連携、モニタリングを行った。 図書館協議会を運営し、3回会議を開催した。 大井図書館はふじみ野ステラ・ウェストへ移転し、令和5年11月にリニューアルオープンした。 上福岡図書館大規模改修工事契約を締結し、令和5年11月より改修工事を開始した。休館中の対応について検討や調整を行い、イオンタウンふじみ野に臨時窓口の設置を行った。(令和6年10月再開予定) 令和5年10月からふじみ野市電子図書館サービスを開始した。 移動図書館を市内6小学校から全小学校(13校)へ運用を拡大し、事業の充実を図った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.30	1.30
		人件費	10,355	10,300	10,300
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	10,355	10,300	10,300	
事業費	報酬※	48	56	2,203	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,873	103	72	
	委託料	303,745	318,121	328,166	
	使用料及び賃借料	9,608	10,309	8,087	
	工事請負費	0	297,686	1,054,158	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	239	320	1,611	
	支出合計	325,868	636,895	1,404,597	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	66
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	150,600	536,600
		基金	5,100	149,731	523,751
		その他	0	0	47
	一般財源	320,768	336,564	344,133	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	2,811	2,948	2,932	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が身近な施設としての事業の成果を示す指標となる。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	252,000	258,000	260,000
	実績値	209,992	183,437	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 実績について (1) 令和5年度から新たな指定管理期間（5年間）を開始し、モニタリングを実施した。 (2) 図書館協議会会議を3回開催した。（7/28、10/13、3/8） (3) 大井図書館のふじみ野ステラ・ウェストへの移転準備と移転、開館業務を行い、令和5年11月にリニューアルオープンした。 (4) 上福岡図書館大規模改修工事契約を締結し、令和5年11月から改修工事を開始した。休館中の対応について検討や調整を行い、イオンタウンふじみ野に臨時窓口の設置を行った。（令和6年10月再開予定） (5) ふじみ野市電子図書館サービスを開始した。（令和5年10月から）蔵書数11,264点。 (6) 移動図書館を市内6小学校から全小学校（13校）へ運用を拡大した。
	2 事業の効果について (1) 図書館サービスの維持・向上につながった。 (2) 上福岡・大井両図書館の指定管理により民間活力導入の拡大を図ることができた。 (3) 施設の適切な管理を図ることができた。 (4) 会議室等の有料貸出により負担の公平化と受益者負担を図った。 (5) 電子図書館サービスの開始及び臨時窓口設置により休館中のサービス継続を図った。 (6) 移動図書館を市内6小学校から全小学校（13校）へ運用を拡大し、事業の充実を図った。 ※産休代替等に係る会計年度任用職員の人件費として別途予算管理する3,110千円が加算される。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市立図書館が「ミッション（使命）」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められている。
中長期的方向性	1 指定管理者による管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。 2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。 3 小学校配置の学校図書館支援員を活用し、小中学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開を図る。
継続	4 上福岡図書館の大規模改修工事を継続して行う。（令和5年度～7年度3か年継続費） 5 上福岡西公民館の大規模改修工事に伴い、図書室の運営について、関係各所と調整を行う。 6 第4期図書館サービス計画及び第4期子ども読書活動推進計画の策定を行う。